



六十歳以上の人の積極雇用で知られるプレス板金部品メーカーの加藤製作所（中津川市駒場）。今は役員を含め全社員九十六人のうち六十歳以上が四十人を占め、加藤景司社長（四六）は「いいバランスだ

近況

が今後は団塊世代の継続雇用が本格化する。業容が広がれば高年者をもっと採用することになるだろう」と話す。

この雇用路線は顧客ニーズ即応型の年中無休、コンビニ工場化を求めた中から生まれ、高年者は土・日曜、祝日の労働力となる。「対応力、稼

高年者採用さらに拡大

働率の向上と人件費の抑制、そして技術の伝承と地域の雇用の場づくり」という一石何鳥ものメリットを求めた路線で、「エイジレスの生涯現役と若手・高年者のベストミックスを実現する企業でありたい」と遠大な哲学。最高齢の社員は七十七歳。この人の息子も孫も社員だという。

（岐阜新聞 2008年10月）